

# NPO法人 横浜金沢文化協会 設立20周年記念式典



NPO法人  
横浜金沢文化協会  
編集人 野中 建吾  
781-5044  
発行人 橋川 和夫  
理事 幸栄印刷(株)  
716-3366



橋川理事長挨拶



感謝状贈呈



琴と尺八と舞踊



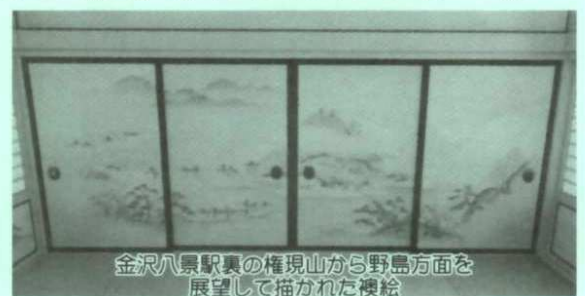
民謡と津軽三味線



華道と詩吟

平成27年3月22日(日)午後1時より、金沢公会堂にて、NPO法人横浜金沢文化協会の設立20周年を祝賀する記念式典を開催した。第一部は、当協会会員による「コラボ・アート」。金沢三曲会・金沢区日本舞踊連盟による邦楽と邦舞の演目「春の海」で優雅に始まり、金沢民謡協会による演目「花笠音頭」などで会場が盛り上がり、華道吟では、横浜岳風会と横浜吟友会の吟詠「花のまこと」に合わせて、金沢華道会によって生けられた祝花の苔梅・八重桜・紅躑躅が舞台に彩りを添えた。第二部の「式典」は、橋川理事長の挨拶に始まり、林琢己金沢区長・横井正己金沢区町内会連合会会長・区選出議員団を代表して松崎淳議員により祝辞を頂き、設立から20年にわたって当協会が活動し協会を支えて頂いている会員9名、団体12団体に感謝状が贈られた。第三部は「記念講演」で、「新しい金沢区庁舎・公会堂を区民協働で彩る実行委員会」準備会との共催で、NHKディレクター・森田健司氏による「よみがえる江戸城本丸御殿襖絵の復元」についての講演があり、江戸城の「將軍御休息之間」に金沢八景が描かれた襖絵があったという金沢の歴史にまつわる興味深い話をCG画面とともに紹介された。改めて金沢に伝わる悠(はるか)な歴史を思い、絶やすことなく悠な未来へつなげることの大切さを感じていただきたいとの願いを込めて、金沢区書道協会の高橋清溪氏の書「悠」を印字したクリア・ファイルを、皆様に持ち帰っていただき、式典は終了した。

(橋本藤子)



金沢八景 駅裏の権現山から野島方面を展望して描かれた襖絵



# 歴史講演会 「横浜金沢と鍋木清方」

横浜金沢文化協会は、平成27年7月5日(日)午前10時から、横浜金沢区役所・横浜金沢観光協会・横濱金澤シティガイド協会の後援を得て、金沢地区センター2階大会議室で、歴史講演会「横浜金沢と鍋木清方」を開催した。講師には、鎌倉市所在の「鍋木清方記念美術館」の今西彩子学芸員を迎えた。近代日本の美人画の巨匠と言われる画伯の、我が金沢区における大きな足跡に触れんと、約60人の聴衆が来場した。会場後部には、金沢図書館からの同画伯に関する各種書籍が展示されていて聴衆の関心を呼んでいた。閑話休題、今西講師は、スライドを映写しつつ、画伯が見た金沢の風景・金沢で記した絵日記などについて、丁寧・懇切・明瞭に講演されて聴衆に大きい満足感を与えていた。特に風景画「朝涼」と当時の田園続きの金沢との関係についての講話が深く印象に残った。講演中席を外す聴衆は皆無で熱心に聞き入り、講演終了後は満足げに帰途についていた。なお、当講演に付随して7月16日に挙行予定であった歴史ウォーク「鍋木清方ゆかりの地を巡る」は、折からの台風11号影響の悪天候により、事故防止のために中止になったことが悔やまれた。(野中建吾)



## 文化伝承事業 塩田による塩づくり教室

本協会会員を中心に結成されている「塩田による塩づくり実行委員会」が、金沢区より区の文化伝承事業として委託を受け行っている第14回「塩田による塩づくり教室」が、平成27年7月18日(土)と8月2日(日)の2日にわたり実施された。初日の7月18日は9時より区役所中庭会議室で「金沢区での塩づくり」「塩の作り方」等について



説明を聞き、資料映像や昨年度の記録で、歴史や作業の概略を学習した。その後、参加小中学生25名が5グループに分かれ、実行委員の指揮の下、「塩の道を歩く」に出発。当初の予定通り「朝夷奈切り通し」を越え、鎌倉・十二所の「光触寺」塩嘗地蔵までのコースを歩き、横濱金澤シティガイド協会スタッフの説明を聞きながら往時の塩運びの様子に思いを巡らした。



2日目の8月2日(日)(7月26日海開きが行なえず延期)は晴天に恵まれ、海の公園バーベキュー場側砂浜に小中学生31名、保護者23名、スタッフ25名が参加。砂浜に塩田を4面設置。海水汲み、海水撒布、畝づくりを2回繰り返す。鹹砂の濾過、鹹水採取、煮詰め、ニガリ抜き等の一連の作業をスタッフのリードで実施。参加した小中学生にとっては、ほとんど初めての体験であったが、手際よく作業を終えた。休憩中、タラヨウの葉でハガキを書いたり、煮詰めの作業中に昼食を摂り、その後スイカ割りも行っており、自作の塩をかけて食べる子もいた。大きな事故や熱中症もなく4班とも予定通りよい塩を採取、参加した皆で分け合い、2時すぎに無事解散した。(深津米男)

以上、各議案とも異議なく承認された。議事終了後、深津事務局長から年会費に係わる規定の改定が報告され、20周年記念事業についての質疑があった。新理事の紹介後、新たに立ち上げた協会HPについての紹介、解説があり、午後2時30分に無事終了した。(深津米男)



- 5月24日(日)午後1時から横浜市立大学アメリカホールで、平成27年度通常総会が開催された。司会は深津事務局長。会員総数141名中、書面評決・委任評決を含め113名が参加。協会を代表して橋川理事長の挨拶、来賓の國原章弘金沢区長及び区選出議員団を代表して国吉一夫県会議員の祝辞があった。議長には、坂副理事長が選出され、議事は次の通り進行した。
- 第1号議案 平成26年度事業報告  
並びに収支決算報告
- 第2号議案 平成27年度事業計画案  
並びに収支予算案
- 第3号議案 平成27年度役員(理事)選任の件

横浜金沢文化協会  
通常総会

# 横浜金沢写真連盟 第2回公募展

西区の横浜市民ギャラリーで、「横浜金沢写真連盟第2回公募展」を、5月12日(火)~17日(日)まで開催しました。横浜金沢写真連盟は、写真を通して、金沢区から情報を発信し、文化の向上と地域活性化を図ることを目的に2011年10月、発足。第2回目の公募展となる今回は、市区内外から265点の作品が集り、その中から入選以上の優秀作品83点を展示しました。沢山の協賛を頂き、期間中新聞掲載、テレビ放映等の応援により、来場者は1200名にもなりました。

第3回公募展は2016年5月31日(火)~6月6日(月)、横浜市民ギャラリーで行います。

(佐野雅子)



## 瀬戸神社 居合道奉納演武式

居合道の歴史は約450年前の室町時代に始まり、それは心・姿勢・技のもと、不意の攻撃にに応じて、刀を抜いた時には相手を制す、鞘はなれの一刀で勝負を決める日本古来の剣技です。

第十四回瀬戸神社居合道奉納演武会は、5月16日(土)、雨天のため場所を長生寺(六浦)に変更して開催しました。あいにくの天候にも関わらず、大勢の来賓・来場者にお越し頂きました。

そして、紋付袴で身を固めた中学生剣士から80代の長老剣士、更に独・米国から来日した外国人剣士ら、十流派約60名の剣士が日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、会場は気迫と熱気に包まれました。

(鈴木 一・記)



第14回 瀬戸神社居合道奉納演武 於長生寺

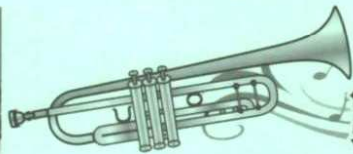
## 富岡コールコンサート 五月の風にのって



二年前「みなとみらいホール」で行った演奏会が忘れられず、今年5月30日、富岡コールにとって14回目の演奏会を行いました。440の座席をほぼ埋めつくした観客の耳を感じつつ、フォーレクイエムのピアノが鳴り出したあの瞬間の緊張感、合唱が入って行く瞬間、毎回の充実した練習が重なったからこそその空気は、心地良いものでした。富岡コールは平成29年には設立50年を迎えます。年齢を重ねていく中で、自分の負担が大きくなっていくのを感じますが、秋頃には、ヴィバルディの「グローリア」が美しく流れれば...と、一步からの練習が始まっています。歌ってみたい、歌ってみようと思われる方、大歓迎です。(宮崎裕子)

## 金沢スプリングコンサート

第14回チャリティー「金沢スプリングコンサート」が3月14日、金沢公会堂にて開催されました。例年4月に行なわれていたコンサートですが、今年は抽選に外れ、3月に公会堂のキャンセルが出たところに、とび込む形で例年より一月早い開催となりました。まだ寒い折にも拘らず今年も大勢の方々に来場頂き誠にありがとうございました。前半には、ブラームスの声楽アンサンブルやオペラ、ミュージカル等、後半は日本の歌を独唱やアンサンブルで演奏しました。会場のお客様にもオペラや日本の懐かしい歌と一緒に歌ってもらい、コンサートを盛り上げて頂きました。企画は、小幡正雄、浅野賢一、和田大雅でした。(佐伯葉子)



## 金沢吹奏楽団 第44回定期演奏会

金沢吹奏楽団第44回定期演奏会は、7月26日(日)、逗子文化プラザホール「なぎさホール」で開催されました。当演奏会では、横浜金沢文化協会会員の齋藤真理恵さんにピアノで出演頂きました。第1部は、常任指揮者岩田晴之氏によるイタリア奇想曲など、

第2部にはゲスト指揮に波田野直彦氏を迎え、スウィングジャズからラテンまで、司会の遠藤弘子さんの絶妙なトークを交え、「ステージは情熱的に、客席には爽快感を！」と、気合を入れて臨んだ演奏会でした。

会場の都合とはいえ、真夏の太陽が降り注ぐ中、皆様にはご来場を賜り、ご声援を下さり本当にありがとうございました。(らっば爺・記)



# 「横浜金沢を詠う」

## 平成26年後期(第13回)

### 俳句・短歌表彰式



横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会主催の「俳句短歌ポスト制度」第13回(平成26年度後期)表彰式が4月27日(月)、金沢区民活動センターで行われました。  
次に被表彰作品を紹介します。

#### 【俳句の部】

☆横浜市金沢区長賞

(天位) 小春空網目麒麟の尾が三つ

(地位) 金沢区富岡西 大川 一馬

(地位) 初詣手子社瀬戸社と願を懸け

(地位) 金沢区金利谷南 柴崎 幸治

☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会長賞

(天位) 千の芽の満を持したる牡丹かな

(地位) 港南区港南 岡本 高司

(地位) 風花や金沢八景墨絵めき

(地位) 金沢区東朝比奈 室田 辰憲

☆横浜金沢文化協会理事長賞

(天位) 福詣二神残してしまひけり

(地位) 金沢区平潟町 中野 潤一

(地位) 長浜の銀杏黄葉の街路かな

(地位) 金沢区並木 高橋 るり

☆横浜金沢観光協会賞

(天位) 琴の音や博文郎の月今宵

(地位) 金沢区並木 田中 徳明

(地位) 初漁に声の飛び交ふ柴漁港

(地位) 栄区本郷台 秋元 孝之

☆横浜金沢シテイガイド協会理事長賞

(天位) どんと焼き憂気楼めく八景島

(地位) 金沢区東朝比奈 森川 享

(地位) 黄落や英世の見違る海遙し

(地位) 金沢区富岡西 小幡 友子



#### 【短歌の部】

☆横浜市金沢区長賞

八景島残照の空切り分けて

金沢区富岡西 ジェットコースターの曲線流る

☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会長賞

四世代揃って詣でる七五三

すこやかなれと富岡八幡

☆横浜金沢文化協会理事長賞

金沢を世に知らしめし広重を

☆横浜金沢観光協会賞

外つ国の若き僧侶も唱和する

☆横浜金沢シテイガイド協会理事長賞

テストコースに軋むタイヤの音響き

☆横浜金沢シテイガイド協会理事長賞

野島の静寂鋭く切り裂く

☆横浜金沢シテイガイド協会理事長賞

赤井不動尊大護摩の日に

☆横浜金沢シテイガイド協会理事長賞

金沢区六浦南 岩澤 正春

金沢区金利谷東 秦 正子

金沢区六浦南 鶴川 博

(野中建吾)

## 文芸部活動報告

### ☆金沢区民短歌(春季)大会結果☆

金沢区民歌人会では平成27年5月10日(日)、八景コミュニケーションハウスに23人の短歌愛好家を集めて、金沢区民短歌大会(春季)を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

定位置に未だおきある夫の靴在りし日のごと折々磨く

朝井 恭子

黒四のダムの真下のやま竜胆あぶぐ高みの空より蒼し

大野 達雄

待つもなく待たるるもなき起き伏しを蒼天ふかく桐の花咲く

小林 愛子

父母のための手摺りをいつのまによいしよこらしよとわれが拙めり

高橋 正毅

かぞへされぬ帰郷の月日ちちははの顔に逢ひに、その死に逢ひに

高尾 文子

九十を超えし兄との別れざわし沈黙「また来るよ」とふ

佐藤 良二

千の手をなべて失ひみちのくの一木造りの観音は立つ

秦 正子

征きしままの兄、従兄あり忘れ得ぬ日を重ねつつ七十年か

市川 定子

みどり児を抱く父の目は浅蜉振る二人の子らへとやさしくつ、く

本間 和子

恙なく春迎へたりここかしこなすなも小さき花を掲ぐる

田中 正子

### ☆金沢区民俳句大会結果☆

金沢俳句会では平成27年6月7日(日)、金沢地区センターに31人の俳句愛好家を集めて、第17回「金沢区民俳句大会」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

万緑に朱の橋映ゆる称名寺

枇杷の実の陽の温もりの手にやさし

区役所の鉄骨上る薄暑かな

浜つ子の潮風に酔ふ開港祭

もどり来る日焼けの顔や帰帆橋

たらちねの母を丸ごと更衣

夕風の薄曳き漁船戻りけり

実時の世にも大地震書を曝す

青葉風車内に乗せてコアラバス

襟ただし知覧の新茶汲みにけり

赤嶋 昌夫

高橋 敬子

太田 修

北野 一清

本間 和子

山口 功

鈴木 正

高橋 るり

大川 一馬

阿彦 久枝

(野中建吾)

# 野点煎茶会



旧川合玉堂別邸の母屋が全焼してから早や、二年になります。恒例の春のイベントとしての野点も昨年は開かれませんでした。今年4月25日、旧川合玉堂別邸及び園庭緑地運営委員会のご努力により開筵されました。前日には設定場所の草むしり等、委員会の方々と楽しみながら準備しました。

当日は快晴で、開園時間前から来園者お待ちでした。土台だけになった母屋跡を通り抜けての野点席では、鶯の囀りの下、大勢のお客様が、お点前を拝見しながら宇治のお煎茶を頂いて春の一時を楽しんでいました。

(坂下静雅)



# 春の茶会

金沢茶道会は、平成27年4月19日(日)、旧伊藤博文金沢別邸にて、「春のお茶会」を催した。海岸からは、大勢の潮干狩りの楽しげな声が風によって聞こえて来ていた。邸内では、上品に着物を着たご社中によって、表千家流点前でお抹茶がたてられていた。床に久祐老師筆の「山花開以錦」のお軸がかけられ、竹筒花入に季節の花が優しく生けられていた。風炉先の前に蓮華卓、オランダ・デレ



フト社の水指がセットされていた。心を込めてたてられたお抹茶とおいしい主菓子に、お客様も大満足の様子であった。

(田宮宗初)

# あじさい茶会



八景島では紫陽花が年ごとに見事になり、子供連れの方、カップル、年配の方々が花を愛でに来ている。金沢茶道会では、定着してきた「あじさい祭」の期間中の6月20日(土)・21日(日)の2日間、八景島客船ターミナルで呈茶を行った。色鮮やかな紫陽花が窓から見える客船ターミナルの中で、紅日傘に短冊と花を飾った。立礼卓で金沢茶道会会員がおいしいお抹茶をたて、鳳月堂のあじさい饅頭に舌づつみを打っていただいた。160人もの方が来席され、会員一同感謝している。

(田宮宗初)

# ぼたん祭茶会



旧伊藤博文金沢別邸主催の「ぼたん祭」が、4月25日から5月1日まで開催された。金沢茶道会は、26日に爽やかな天気のもと、野点を担当した。大きな八重の白牡丹、濃い紫の豪華な牡丹、優しいピンクの八重牡丹、まさに色とりどりの花の中で、90名のお客様に抹茶を差し上げることができた。紅日傘の脇に立礼卓を置き、金沢茶道会会員によるお点前で、丁寧にお茶をたて、お客様に楽しんでいただきました。

(田宮宗初)

# 朗読公演会

朗読部では、3月15日(日)、並木コミュニティハウスで、朗読会を行いました。約20名の参加があり、5作品を朗読。一人で一時間半を演じるのは初めての試みでした。体験コーナーでは、皆さん元気に声を出されて楽しめた様でした。また、4月19日(日)、龍華寺で、篠笛と共に、友人の朗読者と3人で、銀河鉄道の会第5回公演会を開きました。会場が、多くの方が訪れる「牡丹祭り」の時期であり、70席のチケットがすぐに売り切れ、20席増やしたのですが、それも完売となりました。当日お客様には少し暑い思いをさせましたが、盛況のうちに終わることが出来ました。今回も、収益の一部を「足なが育英会」に寄付させて頂きました。

(橘 有美)



# ライオンズクラブ 慈善茶会



5月17日、三溪園鶴翔閣にて、ライオンズクラブ主催による慈善茶会が開筵されました。園内は桜から新緑の季節に移り、池の周辺には黄菖蒲が咲いていました。お香が焚かれた煎茶席では、床に黄檗山万福寺管長の書「滴翠」の幅を掛け、花瓶には「大山れんげ、突抜き忍冬」を生けました。お菓子は松江から「花菖蒲」を取り寄せ、白磁の菓子器に盛り付けました。馥郁たる玉露の味を堪能し、主客共々和気藹々たる雰囲気茶筵を楽しんで頂きました。

(坂下静雅)

# 第7回

# 金美会員展

金沢区美術協会の会員を対象にした第7回金美・会員展(金沢区美術協会会員展)が昨年10月新装なった横浜市民ギャラリー3階の会場で、平成27年4月14日(火)～4月19日(日)まで開催されました。出品者数64名と会員の約6割の方が出品され、出品総点数は150点を数えました。ジャンル別内訳は水彩31名・71点、油彩25名・58点、水墨6名・12点、その他2名・9点という内容でした。今回は、120号が2点、100号が9点、80号～50号まで14点と大型の作品も多く、またそれ以外の作品もレベルの高い力作揃いで、大型の作品をメイン会場に展示、観る人に感動を与える展示ができました。来場者も金沢区の区民をはじめ他区からの来場者も多く、来場者総数は1150名を超え成功裏に終了しました。



(金美協会 大滝・記)



6月22日(月)の晴れ上がった午前中、金利谷の白山トンネル北側・白山六郎ヶ谷公園の奥にある「畠山六郎重保公廟所」において、横浜金沢文化協会主催による墓参会が実施された。金利谷の東光禅寺と禅林寺の住職3人による読経の中、横浜金沢文化協会の橘川理事長・後藤名誉会長ら役員7人と町内関係者が墓参した。畠山六郎重保公は、鎌倉時代、源頼朝の重臣だった武將の畠山重忠の嫡男で、曹洞宗竹嵩山禅林寺の境外墓地である当「畠山六郎重保公廟所」に祀られている。

(川浪舎人)

## 畠山重保公 顕彰墓参会

## 赤ひげ先生256回忌法要



「赤ひげ先生」こと小川笙船は、江戸時代中期、目安箱を通して、貧しい人を救う施薬院を提案したところ、八代将軍・徳川吉宗がこれを採用し開設した「小石川養生所」の初代肝煎(院長)になった医者である。笙船は晩年、現在の瀬ヶ崎と三艘に住み、風流を好み「山にいては海を語り、海にいては雲を語る」と言って「雲語子」と名乗り、遺言で太寧寺に「雲語子之墓」が建てられた。

この墓は昭和18年、戦時疎開で現在の片吹に移転され、一時不明となったが、平成13年、子孫の小川明氏と檀家、金沢区の文化団体の人々により再建された。笙船は、宝暦10年6月14日、89歳で亡くなり、今年も命日に、片吹の臨済宗海蔵山太寧寺で256回忌法要が行なわれた。

なお、平成26年から、赤ひげ小川笙船法要会施主・小川明氏が、当横浜金沢文化協会に入会された。

(一之瀬焯次)

第29回金沢区書道協会展は6月24日(水)～30日(火)、磯子区民文化センター・ギャラリーで開かれました。会場入口では、大きな花と見まがう赤い包み紙の中の美しい鉢植えの緑が迎えてくれました。会場は、前回と雰囲気の違いが広がりました。展示空間です。すっきりとした壁面への距離が美しい伝統文化を鑑賞する側の心にゆとりを持たせてくれます。

今回も端正な楷書、豪快な行・草書、流れる川のような仮名書き、珍しい墨書の重ね書き、そして絵入り等、楽しい構成になりました。

作品の大小に関わらず表装に気を遣い、より自分らしい作品に仕上げる、書道の醍醐味の一つですが、用紙の質や色、その中の文字の大小、墨の潤滑、どんな雅印が押されているか、また額も塗りか、素地、角や丸等でそれぞれ趣が違います。中に入れる作品を生かす大切なものです。今回も展示作品の中に白木のすばらしいものがありました。書道展をより楽しいものにするため、色々な面をお楽しみください。

(高橋清溪)

## 第29回金沢区書道協会展



# NPO法人 横浜金沢文化協会 会員を募集中です

当協会は、武蔵国金沢以来の伝統をふまえ、次世代を展望しつつボランティア精神をもって、地域文化振興の中核となる事業を行い、各種の文化活動を通じて、地域文化の総合的發展に寄与することを目的としています。

## 活動の種類

- 学術、文化、芸術の振興を図る活動
- 社会教育の推進を図る活動
- まちづくりの推進を図る活動
- 子どもの健全育成を図る活動、その他

## 事業

- 地域文化振興の中核となる事業
- 歴史、史跡、文化財等の調査・伝承・保全事業
- その他、当法人の目的達成に必要な事業

## 活動部門

- ◎総合文化部 ◎絵画部 ◎書道部 ◎写真部 ◎手工芸部 ◎文芸部 ◎歴史部 ◎楽器部
- ◎合唱部 ◎声楽部 ◎邦楽部 ◎吟剣詩舞部 ◎華道部 ◎茶道部 ◎郷土芸能部 ◎謡曲部
- ◎民謡民舞部 ◎陶芸部 ◎邦舞部 ◎洋舞部 ◎朗読部 ◎武道部 ◎児童文化部 ◎一般文化部

## 年会費

- 個人 2,000円
- 団体 7,500円(会員25人以下)
- 10,500円(会員26人~50人)
- 15,000円(会員51人以上)

横浜金沢文化協会の個人または団体が行う行事で、当協会の共催または後援が必要な場合は、申請書の審査により、名義使用の許可と、資金援助を年1回限度で実施しています。

## 会員の募集

主として金沢区に居住・在勤・活動されている方で、当協会の目的に賛同し、活動またはご協力等を頂ける個人または団体の皆様。入会及び問合せは、右記「問い合わせ先」まで、ご連絡願います。

## 問合せ先

NPO法人横浜金沢文化協会  
事務局長 深津 米男  
電話 045-782-0705

## ☆☆金沢区に文化ホールを☆☆

## ホームページだより①



### NPO法人 横浜金沢文化協会

各種文化活動を通じて横浜市金沢区における地域文化の総合的發展に寄与します  
ホーム 行事予定 行事報告 会員一覧 会報 協会について リンク



文化協会設立20周年記念式典

#### お知らせ

- H27.07.09 当協会の深津米男理事・事務局長を紹介する報道がありました
- H27.07.10 当協会団体会員の金沢民謡協会を紹介する報道がありました
- H27.03.22 文化協会設立20周年式典(金沢公会堂 13:00~)
- H27.01.08 ホームページ開設の具体的な作業を開始しました
- H26.12.25 会員 川浪善人さんの絵画教室に関する報道がありました

#### お問合せ先

NPO法人 横浜金沢文化協会 E-mail ykbunnka@gmail.com

### ～ホームページを見る手順と専用メールの利用について～

ホームページの存在意義は、会員や区民が、①当協会の現況を何時でも簡単に知ることができ、かつ②当協会への連絡方法を何時でも簡単に知り、実施できることである。

当協会のホームページは、「横浜金沢文化協会」で検索すれば、簡単にたどり着け、見ることができる。一度たどり着けば、「お気に入り」に登録することで、次回からは、もっと簡単にたどり着ける。

当協会のメールアドレスは、ホームページの最初のページ「ホーム」の最下端に「お問合せ先」として掲載されている。この専用メールアドレスを利用すると、時間を気にせず、相手が不在であっても、発信できる。受けた電子メールは、パスワードを知っている当協会の専任者(事務局長)だけが閲覧できるようになっており、専任者は受けた電子メールを読み、専任者の責任において判断し、必要に応じて必要な情報を各担当者に転送する。(金間誠一)

## 夏休みこども体験教室

8月7日(9日)、横浜テクノタワーホテルで、医学生物学電子顕微鏡技術学会と野口英世細菌検査室保存会共催の「夏休みこども体験学習」が開催され、①電子顕微鏡でミクロの世界を探検、②光学顕微鏡で生物観察、③野口英世展、④わくわくイベント、が行なわれた。小・中・高生延べ29人とほぼ同数の保護者が参加。①では、海の公園での「塩田による塩づくり」で作った「塩」の結晶やシソの葉などを観察した。②では、池の水1滴に色々な小生物が生きているのを観察した。③では野口英世が光学顕微鏡を駆使して病原体を探求したことなどを学んだ。④では、電子顕微鏡でミツバチの目や口の構造を観察したり、野口英世が顕微鏡検査でペスト菌を発見しペストの横浜上陸を阻止したことを学ぶなど、参加者にとり有意義な体験学習であった。(金間誠一)



文化協会行事予定(日程順)	9月8日(火)～18日(金) 金沢区民活動センター 色鉛筆植物画展	090 5435 7300
9月17日(木)	金沢地区センター 裏千家茶道教室(第1回)	(788)
9月25日(金)	金沢地区センター 裏千家茶道教室(第2回)	(788)
10月1日(木)	金沢地区センター 裏千家茶道教室(第3回)	(788)
10月9日(金)～13日(火)	金沢地区センター 体育館 金沢区民文化祭・区民の作品展	(788)
10月10日(土)	金沢公会堂 演奏会	(788)
10月10日(土)～11日(日)	金沢地区センター 大森室 金沢区民文化祭・華道展	(783)
10月11日(日)	金沢地区センター 和室&ロビー 金沢区民文化祭・茶会	(788)
10月16日(金)～22日(木)	金沢区民活動センター 横浜金沢文化協会のパネル展	(781)
10月18日(日)	金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区音楽のつどい	(771)
10月21日(水)	龍華寺 朗読部朗読会	(785)
10月24日(土)	金沢公会堂 金沢区民文化祭・吟と舞の祭典	(783)
10月25日(日)	金沢動物園 金沢区民俳句(吟行)大会	(781)
10月25日(日)	八景コミュニティハウス 朗読教室「たちばな会」発表会	(785)
10月下旬	金沢地区活動センター 第14回「金沢を詠つ」俳句短歌表彰式	(781)
11月3日(火)～祝	金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢三曲演奏会	(781)
11月8日(日)	並木コミュニティハウス 朗読部朗読会	(785)
11月21日(土)～26日(木)	金沢地区センター 体育館 第8回金沢区美術展	(771)
11月22日(日)	金沢公会堂 第14回楽奏楽団(リズムス・チャルティ)コンサート	090 7189 5298
11月29日(日)	金沢公会堂 金沢区民文化祭・第15回金沢区小・中学校音楽祭	(771)
11月	八景コミュニティハウス 金沢区民短歌(秋季)大会	(781)
12月6日(日)	金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区日本舞踊連盟公演	(784)
12月13日(日)	金沢公会堂 金沢区民文化祭・横浜金沢交響楽団第8回定期演奏会	(788)
12月20日(日)	金沢公会堂 金沢区民文化祭・公謡のつどい	(785)
3月6日(日)	三溪園 春の大茶会	(788)
3月13日(日)	金沢公会堂 悠久につなぐ金沢公会堂さよならコンサート	(785)
3月	野島公園 海苔づくり教室	(782)

# 第3回 絵画しおさい展

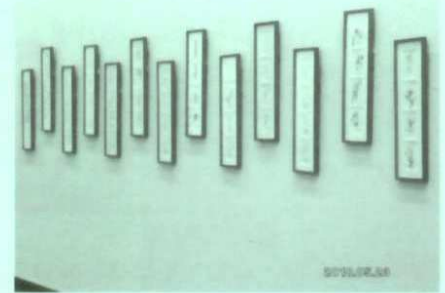
第3回「絵画しおさい展」が、5月10日から23日の14日間、金沢区民活動センターにて開催されました。8号を中心に、自宅で、あるいは近郊で、または海外で、と描かれた、作者が自分の感性を發揮された色彩豊かな作品10点が展示されました。

期間中に見学された方々の感想文がメモ帳に記載されておりまして、その一部を紹介します。

- 「ほのぼの、ゆったりとした作品、楽しく見せて頂きました」(E・K)
- 「清清とした空気に触れた感じがしました。ラマンチャの風景の裏手にドンキホーテが一服している姿が目浮かぶ」(M・T)
- 「『早春』、良い絵ですね。これぐらい描けると楽しいだろうね」(T・S) (三浦正雄)



絵画「しおさい展」文化協会 平成27年5月10日 金沢区民活動センター



## 川浪舎人会員の 色鉛筆植物画展

バラの花が咲き誇っている5月、ハスの花が早朝に開く7月の年二回、神奈川県立大船植物園にて、植物の成長過程(移り変わり)を色鉛筆で描いたシリーズものの作品を展示した。今回の展示は、新企画として今までとは少し趣向を変えて、良く似ている植物のちよっとした相違点「見分け方」を、四枚の成長過程を描いた絵により描写して、鑑賞者の理解を得ようとした。その結果、「よく似ているが、こんな点に違いがあったのか・・・」とか、「これからは、はっきり区別できそうだ・・・」等との声が多く聞かれた。相違点をあげた植物のペアは、次の通り。

- ニホンタンポポとセイヨウタンポポ
- モクレンとコブシ
- アケビとムベ
- コパンソウとヒメコパンソウ。

(川浪舎人)



### 個人会員紹介



茶道部 門間 宗映  
20歳の春、裏千家茶道十五代家元鵬雲齋の姉・塩月弥栄子先生の門下生となりました。結婚後、

西柴に移り住み、現在は茶道歴50年になります。裏千家淡交会横浜支部の役員を20年間務め、昨年退任しました。今後は、金沢区の皆様に茶道を楽しんで頂けるような茶会を企画して参りたいと思っています。現在、並木コミュニティハウスで、並木第一小学校6年生に、茶道体験教室を行っています。生徒からの質問は素晴らしく、日本文化の継承の大切さを痛感しております。

### 編集後記

当協会20周年記念式典も無事終わり、21年目のスタートラインには、各種行事がズラリと並びました。行事予定をご覧のうへ、お見逃しなく、キャッチなさせていただきます。  
(編集委員・森川淳子)

### 編集委員

- 阿部きみえ・榎本あけみ・遠藤 勝美
- 橘川 和夫・後藤 政也・佐野野瑞子
- 鈴木 稔・野中 建吾・宮崎 裕子
- 森川 淳子 (五十音順)